

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	海運経済論	
科目基礎情報							
科目番号	0020			科目区分	専門 / コース必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	前期:2		
教科書/教材	ビジュアルでわかる国際物流 汪正仁 著						
担当教員	境 善行						
到達目標							
国際規模で展開される物流システムの一部を担う海運に関する概要を知る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	船速と燃費の関係について具体的な計算ができる			船速と燃費の関係について計算ができる		船速と燃費の関係について計算ができない	
評価項目2	定期船海運の概要を具体例を挙げて説明できる			定期船海運の概要を説明できる		定期船海運の概要を説明できない	
評価項目3	不定期船海運の概要を具体例を挙げて説明できる			不定期船海運の概要を説明できる		不定期船海運の概要を説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海運に関する用語や略号を理解するとともに、海運に伴う経済活動について理解する						
授業の進め方・方法	講義を中心に授業を進めていく 鳥羽丸実習や乗船実習で見た港湾や各種船舶を思い出しておくこと 4年次の貿易物流概論を理解しておくこと						
注意点	前回の講義を踏まえて授業を進めていくので、前回の講義または既に学んだことを復習しておくこと レポート課題を課すので、期限に遅れずに提出すること レポート、その他（ノート提出・出席）等がすべてなされていることを条件に評価するので忘れないこと						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	海運業の構成		海運業の構成について説明できる		
		2週	船舶の建造と船価		船舶の建造と船かについて説明できる		
		3週	船速と燃料消費の関係		船速と燃料消費の関係について説明できる		
		4週	船舶の大型化の背後要因		船舶の大型化と背後要因について説明できる		
		5週	不定期船海運 1		不定期船海運の概要について説明できる		
		6週	不定期船海運 2		不定期船海運の成立条件について説明できる		
		7週	不定期船海運 3		現在の不定期船海運について説明できる		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	定期船海運と海運同盟 1		定期船海運の概要を説明できる		
		10週	定期船海運と海運同盟 2		海運同盟の概要を説明できる		
		11週	定期船海運と海運同盟 3		海運同盟の現在について説明できる		
		12週	コンテナ輸送とアライアンス		コンテナ輸送とアライアンスについて説明できる		
		13週	コンテナターミナル		コンテナターミナルの概要について説明できる		
		14週	コンテナ貨物と通関業務		コンテナ貨物と通関業務について概要を説明できる		
		15週	定期試験				
		16週	テスト返却と海運・物流業界の現状		定期試験の解説と海運・物流業界の現状		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	5	20	15	100
基礎的能力	50	0	0	5	20	15	90
専門的能力	10	0	0	0	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0